

第5学年 道徳学習指導案

2025年2月8日土曜日 3校時

町田市立小山小学校

指導者 1組(33名) 江上憲一郎

2組(32名) 菊地 拓也

3組(31名) 横田 尚紀

4組(32名) 藤田 恵未

1 ねらい 権利や義務の観点から自分や相手の行動などについて考えを深め、互いの権利を尊重していこうとする心情を育てる。

「規則の尊重」(学習指導要領の内容 C-12)

2 教材名 「遊園地のできごとから」

(出典 東京書籍「新しい道徳」第5学年)

3 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導入	1 「権利」や「義務」について考える	○ 全員が共通理解のもと話せるように、「権利」や「義務」という言葉の意味について確認する。 ○ 日常生活の中での様々な「権利」と「義務」について想起させる。
展開	「権利」を主張するとき、大切にしなければならぬのはどのようなことだろう。	
	2 資料「遊園地のできごとから」を基に話し合う ① 「わたし」や「肩車するお客さん」の権利とはなんでしょう? ② 肩車をするお客さんや係員の考えについて「わたし」はどんなことを思っているでしょう。	○教材提示後、発問の前にどのようなことが問題なのか確認する。 ○吹き出しのついたワークシートを用い、それぞれの登場人物になりきって考えを書けるようにする。
	③ ショーに来た誰もが気持ちよく見られるためにどんなことが大事でしょう。	○書いたワークシートを基にどんなことが大事なのか考えさせる。 ☆異なる立場の人の思いを理解し、誰もが気持ちよく見られるためには何が大事なのか多面的・多角的に考えている。
開	3 権利を主張することについて自分との関わりの中で考える ① 「権利」を主張するときどのようなことを大切にしたらよいでしょう。	○自分の経験を想起させながら考えさせる。
終末	4 教師の話聞く。	○互いの権利を尊重していこうとする心情を深められるようにする。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。

授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いいたします。